

～持続可能な社会を築くため～

リサイクル社会への挑戦

= ごみ問題の解決と自然再生 =

1. リサイクルの落とし穴

1. 個人で取り組むごみ対処

リサイクルにも落とし穴がある。そういわれるとどきっとしてしまふ。以前は大量生産、大量消費、大量廃棄だった。そして今は大量リサイクル社会となった。ごみはたくさん出す。「でもリサイクルすればいいんじゃないの」。そう思っていないませんか。ごみ問題はリサイクルだけでは解決しません。ではどうすれば解決できるのでしょうか。国内外の事例や自然再生から読み解いていきます。

浅倉孝郎

あさくら たかお

講師：浅倉 孝郎



専門分野：廃棄物、リサイクル、環境計画、環境教育、自然観察(植物、鳥、水生生物、昆虫、星空等)

経歴：「月刊廃棄物」編集部在籍。廃棄物の専門誌の編集記者として活動。特に一般廃棄物を専門としている。またNPO法人宮代、水と緑のネットワークの理事として、自然保護・再生活動、有機農業、ビオトープづくりやホテルの再生を行っている。近年は、小中学校への環境教育を精力的に行っている。

★埼玉県環境アドバイザー ★埼玉県環境教育アシスタント ★環境カウンセラー(市民・事業者部門) ★NPO法人 宮代水と緑のネットワーク(理事)

● 日時：平成26年11月29日(土)

13時30分～15時30分(開場13時)

● 会場：やまぶき会館 C会議室

川越市郭町1-18-7 TEL:049-222-4678

● 定員：35名 申込順 (会費は無料)



★主催：かわごえ環境ネット・社会環境部会

(川越市市民会館に隣接)

★後援 特定非営利活動法人 埼玉環境カウンセラー協会

★申込先：かわごえ環境ネット事務局/川越市環境部環境政策課

TEL:049-224-5866 FAX:049-225-9800